

発言No.

17

受付No.

13

令和 6年 11月 22日

9 時 34 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西 田 清 久

答弁を求める者

☒ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田中心市街地のグランドデザイン（未来像）について

① 浜田駅前周辺においては、三桜酒蔵跡地、NTT社宅跡地等、土地開発公社で購入した土地や、駅前大型空き店舗の活用、またホテルのリニューアルや、君市踏切の改良などここ数年の駅周辺の動きは、市民の注目が集まる。今年のはまだ市民一日議会でも若い人達の意見を取り入れたまちづくりをして欲しいと発言があったところである。

駅北とのアクセスも良くなることから、老若男女の人流と滞在がさらに効果を発揮するために『活性化グランドデザイン』を作成し市民に示すことが重要と考えるが、市長の所見を問う。

2 フットパスの推進について

① フットパスとはイギリスを発祥とする「歩くことを楽しむための道」のことで、古い街並みや田園地帯、森林など地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことが出来る小径のことで、近年日本においても様々な地域において各々の特徴を活かした魅力的なフットパスが整備されてきている。

浜田市に於いても各々の地域の歴史や営み、生活スタイルなどコースマップを作成してイベントや市民の余暇活動を推進してはどうか所見を問う。

3 折居駅の活用について

① はまだ市民一日議会で若い市民からの提案があった。折居駅は今年で100周年を迎えたが、駅舎の老朽化などを理由に解体される可能性がある。折居駅の様々な特徴から市民、地域住民で駅舎の活用策を考えているが、JRは一般市民への譲渡は難しく、浜田市への譲渡なら可能とのことで、この市民からの意見に対する浜田市の見解を問う。

4 中山間地域（里山）の魅力の再確認と生かし方について

① 中山間地域（里山）は古から様々な産業や人々の営みが行われてきた。里山の文化も築かれ、計り知れない資源が存在していると思う。市長が考えられる里山の資源（魅力）について問う。

② 人口減少と高齢化によって里山は耕作放棄地の増加などで荒廃が進む中、米や野菜、果樹などの価格は上がっているように思う。担い手次第では耕作地復活のチャンスにも捉えられる。

過去に話題となった旧弥栄村の定住住宅と農地と仕事（農林商工サービス業）の3点セットで浜田への移住を推進してはどうか問う。

③ 人口減少と高齢化によって集落の主体性（地域力）も衰退に向かっている。長野県飯綱町が制定している「集落振興支援基本条例」を参考に浜田市集落支援制度が制定できないか問う。